

安曇野屋敷林 サポーター通信

発行日/2016年5月10日

編集・発行/屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト

連絡先/安曇野ブランド担当 ☎0263-71-2053

<http://keikan-azumino.net>

第17号



「安曇野屋敷林フォーラム2016」のご報告

リーダー 場々洋介

平成28年3月19日(土) 安曇野屋敷林フォーラム 2016が開催されました。昨年11月に武蔵野市を視察し、市の緑に対する政策に感心しました。元武蔵野市長の土屋正忠様を基調講演講師にお招きして開催しました。

緑の存在は公共財産であると移置づけ、全市で25%の緑被率に達成している。理想的な市の実情と苦労話をお聞きできました。



三郷の松岡家の屋敷林
ケヤキの生命力に大きなパワーを感じるとのコメントでした。



飯田地区の蔵久をご案内する
古い民家の利活用に土屋様は感心されていました。

会場：安曇野市庁舎 4階多目的室

スケジュール 1:30 開会
1:40 基調講演
2:30 パネルディスカッション
4:30 閉会



あいさつする 場々リーダー

フォーラムは通算6回となり、過去最大の170名が参加されました。大変意義深いフォーラムでした。



土屋正忠様の基調講演 「武蔵野市 都市緑化のおもい」

土屋様は昭和41年武蔵野市職員として就職、武蔵野市議員2期、昭和58年から6期、市長を務められました。平成17年、国会議員に当選後、現在は総務副大臣の要職についています。

武蔵野市長時代に減少する緑の復活と緑地の確保をめざし、様々な政策を実施されました。在職中約300億円の資金を使ったとのことでした。



多くの参加者をお招きできました。

パネルディスカッション「都市の緑 町の緑 田園の緑」

コーディネーター：宮崎 崇徳 (PJ 副リーダー)

パネリスト：佐々木 邦博先生

(信州大学教授・緑の基本計画座長)

パネリスト：細萱 雅男 (市都市計画課長)

パネリスト：中沢 倫明 (屋敷林所有者・PJ メンバー)

パネリスト：場々 洋介 (PJ リーダー)

パネルディスカッションのテーマ

- 人材育成について サポーター アドバイザー
- 緑の基本計画 環境基本計画 景観計画



細萱雅男 様

佐々木邦博 様

安曇野は自然環境にはめぐまれているものの、まちなかなどは緑は少ないと思えます。この違いは緑の少ない都市には意図的に立派な並木や都市公園をみると痛切に思います。その違いは武蔵野と安曇野の違いと似ています。面積において約1/30の敷地に安曇野市の1.5 倍の住民が暮らす、東京でも財政の豊かな都市です。安曇野市は昨年度から緑の基本計画を制定を目指し審議会をスタートしている絶好な時期でもあります。

屋敷林が生活に密着した存在ではなくなりました。かつて防風としての機能は、現在社会では必要ないのかもしれませんが、田園の中で安曇野ならではの美しい景観を構成しています。安曇野の景観は アルプス 田園 屋敷林 水環境が大きな要素であることを確認できたフォーラムでした。

文責：場々



中沢倫明様



パネルディスカッション コーディネーター 宮崎副リーダー